

花

本調子

工	工	工	工	尺	中	尺	中	尺	中	上	中	○	乙	上	合	○	○	○
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

合	○	合	四	四	上	中	尺	王	五	○	工	○	王	上	中	四	老	乙	合
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

合	○	合	四	四	上	四	老	乙	合	○	合	四	上	中	工	上	○	○	○
				は	る	の	う	ら	ら	の	す	み	だ	が	わ				

合	○	合	四	四	上	四	老	乙	合	○	上	○	上	上	中	四	○	○	○
				の	ぼ	り	く	だ	り	の	ふ	な	び	と	が				

工	○	王	工	○	中	尺	○	尺	尺	○	上	中	○	乙	上	合	○	○	○
				か	い	の	し	ず	く	も	は	な	と	ち	る				

合	○	合	四	四	上	四	老	乙	合	○	上	上	中	尺	上	四	○	○	○
				な	が	め	を	な	に	に	た	と	う	べ	き				

工	尺	中	尺	工	○	中	尺	中	上	中	尺	○	上	中	合	合	乙	老	上	四	○	○	○

一、春のうらの 隅田川
のぼりくだりの 船人が
櫂のしずくも 花と散る
眺めを何に 喩うべき

二、見ずやあけぼの 露浴びて
われにも言う 桜木を
見ずや夕ぐれ 手をのべて
われさしまねく 青柳を

三、錦織りなす 長堤に
暮るればのぼる おぼろ月
げに一刻も 千金の
眺めを何に 喩うべき